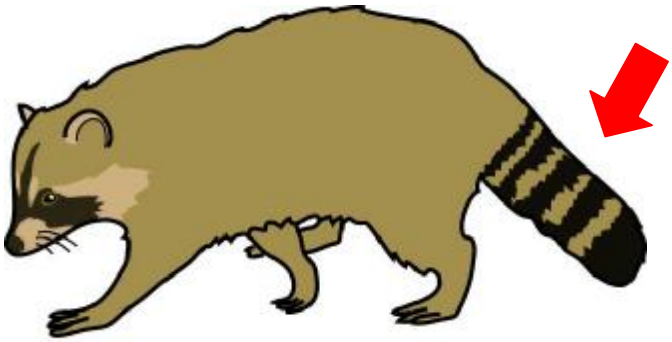
資　料　編（案）

（1）これまでの取り組み（資－表１）

年	月	取組内容
平成 14 年		初めて有害鳥獣捕獲で捕獲される（茨木市 4 頭、河内長野市 4 頭）
平成 16 年	2 月	市街地を徘徊するアライグマの取扱い等について府庁内関係課の合意形成
	4 月	『アライグマ等被害防除対策調査業務』を実施
	9 月	『大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の設立
		『大阪府アライグマ捕獲等実施要領』策定
平成 17 年	2 月	『第 2 回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催
	6 月	普及啓発パンフレット『アライグマ被害対策の手引き　知って防ごうアライグマの被害』【初版】発行
	7 月	『アライグマ被害対策にかかる措置支援マニュアル』策定 動物由来感染症の積極的なサーベイランスを開始
	8 月	『大阪府アライグマ対策連絡協議会』設立
	10 月	措置支援マニュアル改訂、措置支援の拡大
平成 18 年	4 月	普及啓発パンフレット【第 2 版】発行
	5 月	平成 18 年度『大阪府アライグマ対策連絡協議会』総会
	9 月	『第 3 回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催
平成 19 年	4 月	『大阪府アライグマ防除実施計画』策定、外来生物法による捕獲開始
	12 月	『第４回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催
	〃	普及啓発パンフレット【第 3 版】発行
平成 20 年	1 月	アライグマ捕獲の手引き発行
平成 22 年	5 月	『第 5 回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催
	8 月	『第 6 回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催
平成 23 年	1 月	『第 7 回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催
	4 月	『第２期大阪府アライグマ防除実施計画』策定
平成 25 年	9 月	『第 8 回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催
平成 27 年	8 月	『第 9 回大阪府アライグマ被害対策検討委員会』の開催

（２）アライグマの生態・特徴

種名分類：アライグマ（*Procyon lotor*）、カニクイアライグマ（*Procyon cancrivorus*）
　　食肉目アライグマ科
原 産 地：アライグマ／北アメリカ、カニクイアライグマ／中南アメリカ
生息環境：森林、湿地帯から都市部まで幅広い環境にすむことができる。
体　　重：４～１０ｋｇ
食　　性：雑食性で、小型のほ乳類、野鳥とその卵、魚類、両生類、は虫類、昆虫類、果実、野菜、穀類などを食べる。
活動時間：夜行性だが、昼間に目撃されることもある。
寿　　命：野生では５年程度、飼育下では１３～１６年。
繁　　殖：年１回。春に３～６頭の子を産む。（春の繁殖に失敗すると秋に再繁殖することがある）
　　繁殖場所は木の洞、人家の屋根裏など。
毛　　色：茶色から灰色まで個体差がある。
性　　質：幼獣のうちは人に慣れるが、成獣になると気が荒くなる。学習能力が高く、手先が器用で、力が強い。



アライグマの特徴
尾に縞模様、目の周りに黒い
マスク模様がある

アライグマの足跡（実物大）
指が長く、５本指の跡がつく

左前足　　右後足

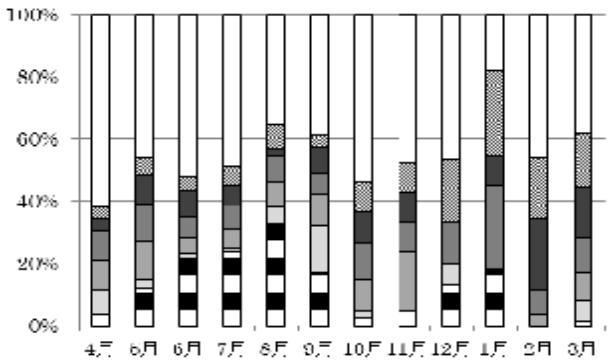
（３）アライグマ捕獲頭数の経年変化（資－表２）

アライグマ捕獲頭数の経年変化

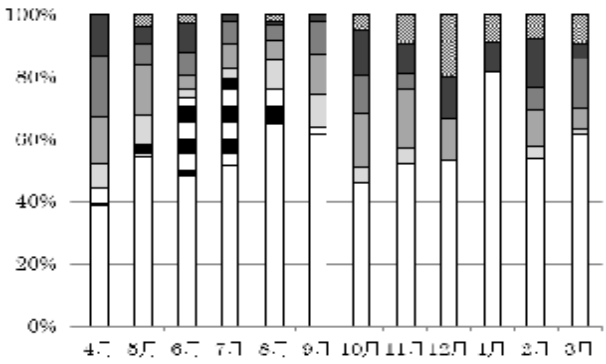
管轄	市町村	年度													
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
北部	能勢町				21	30	81	90	106	86	132	77	60	76	108
	豊能町			14	37	9	12	21	8	21	36	11	15	21	47
	池田市			1	6	29	34	32	28	27	17	17	16	18	20
	箕面市					13	21	21	17	31	50	6	24	31	40
	豊中市				3	3	3	1		3	1	3	9	9	2
	吹田市				1	1		2	2	2	2	2	11	3	13
	摂津市						1			1	1		1	1	2
	茨木市		4	7	73	62	78	63	43	50	71	37	47	62	76
	高槻市				16	46	39	44	69	58	54	39	52	45	53
	島本町				6	1	5	2	6		10	6	10	22	9
	小計	0	4	22	163	194	274	276	279	279	374	198	245	288	370
中部	枚方市								2	4	15	28	24	34	53
	交野市					1					4	13	34	49	27
	四條畷市							1	1		2	2	1	1	9
	大東市							1		1	4	6	24	17	8
	寝屋川市						1					1	1	8	10
	門真市														1
	守口市														
	東大阪市					2		2	1	2	4	7	20	14	13
	八尾市				2	4	3	2	4	10	36	29	39	34	27
	柏原市					1	95	96	25	28	30	24	37	62	70
	小計	0	0	0	2	8	99	102	33	45	95	110	180	219	218
南河内	松原市											1			
	藤井寺市						1	3	6	2	1				1
	羽曳野市						1	2	10	1	1	1	9	12	7
	大阪狭山市					1	2	1	3	3	1	1	3	7	12
	富田林市					6	11	5	15	13	35	28	33	83	82
	河内長野市		4	9	8	27	61	57	43	71	121	54	120	84	146
	太子町						1	1	6	4	3	8	9	8	21
	河南町						5	2	6	1	15	4	11	30	35
	千早赤阪村					1			3	11	3	1	5	20	28
	小計	0	4	9	8	35	82	71	92	106	180	98	190	244	332
泉州	堺市				1	5	5	15	2	11	33	32	78	86	131
	高石市													1	1
	和泉市			10	4	25	23	43	65	61	132	108	170	133	207
	泉大津市											1	3		
	忠岡町														
	岸和田市					43	35	23	13	26	43	12	33	31	63
	貝塚市				2	14	51	48	51	34	58	35	40	37	73
	熊取町				4	8	6	6	12	2	9	26	33	32	43
	泉佐野市				45	25	115	48	49	25	29	41	19	15	25
	田尻町						1	2	1	6				1	1
	泉南市					7	47	57	78	92	43	52	53	52	62
	阪南市						8	19	24	37	33	19	28	34	42
	岬町					11	46	49	14	38	28	33	16	35	13
	小計	0	0	10	56	138	337	310	309	332	408	359	473	457	661
野生動物Q	大阪市						1	2	8	3			9	1	2
	警察等	3	6	13	6	2	15	1	2					3	
	小計	3	6	13	6	2	16	3	10	3	0	0	9	4	2
狩猟によるもの		0	1	0	3	16	4	8	1	5	5	4	5	1	7
計		3	15	54	238	393	812	770	724	770	1062	769	1102	1213	1590

（４）捕獲個体の構成グラフ（年度別、月別）（資－図 1）

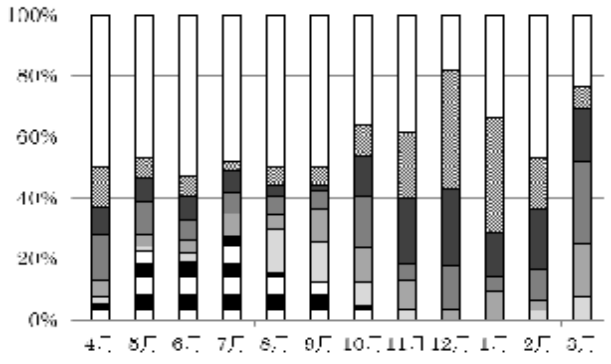
平成23年度（オス体重別）



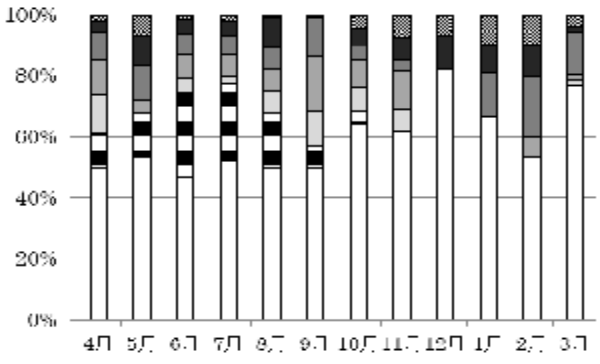
平成23年度（メス体重別）



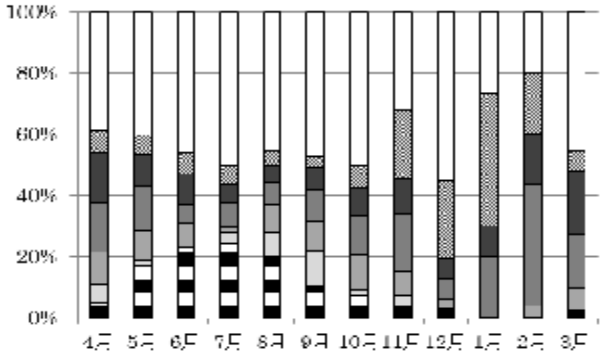
平成24年度（オス体重別）



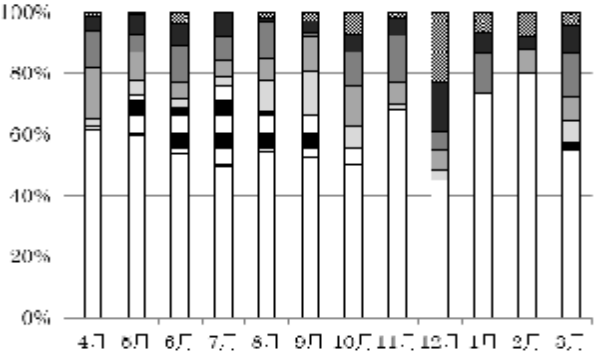
平成24年度（メス体重別）



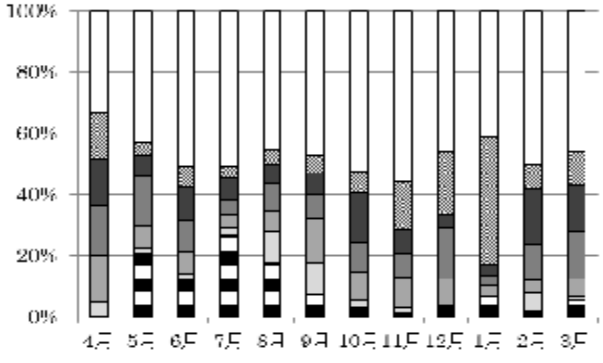
平成25年度（オス体重別）



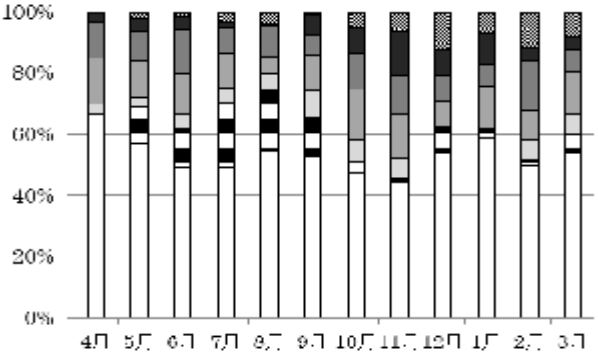
平成25年度（メス体重別）



平成26年度（オス体重別）



平成26年度（メス体重別）



（５）捕獲個体の妊娠率及び平均産仔数の推定（資-表３）

平成１６年度　大阪府アライグマ捕獲個体調査

	捕獲月		市町村	年令	妊娠状態 (目視)	妊娠状態 胎盤痕	体重 (kg)
1	H17	1月	茨木市		無	0	5.2
2	H17	2月	茨木市	1才以上	無	3(+1吸収痕)	6.0
3	H17	2月	茨木市		無	0	4.1
4	H17	2月	茨木市		無	0	5.9
5	H17	2月	茨木市	1才以上	無	不明(発情初期)	5.7
6	H17	3月	茨木市	2才以上	２子	2	6.0
7	H17	3月	茨木市		無	0	4.2
8	H17	3月	茨木市		無	不明(発情初期)	4.0
9	H17	3月	茨木市		４子	5	4.9
10	H17	3月	茨木市		無	不明(発情初期)	4.0
11	H17	3月	茨木市	1才以上	４子	4(+1吸収痕)	6.7

※発情初期
発情に伴い、子宮粘膜の肥厚が進み
胎盤痕が消失している
（昨年の妊娠は判断できない）
（今年は妊娠する可能性が高かった）

※（+1吸収痕）
成長せず出産されなかったもの

平成１７年度　大阪府アライグマ捕獲個体調査

	捕獲月		市町村	年令	妊娠状態 (目視)	妊娠状態 胎盤痕	体重 (kg)
1	H17	4月	茨木市		無	不明(発情初期)	6.8
2	H17	4月	茨木市	1才以上	１子	3流産	5.9
3	H17	4月	茨木市		４子	4	4.3
4	H17	5月	茨木市		無	4	6.4
5	H17	5月	高槻市		無	0	4.8
6	H17	5月	高槻市		無	5	5.5
7	H17	5月	茨木市		無	6	7.2
8	H17	5月	茨木市		無	5	6.0
9	H17	6月	茨木市		４子	4	5.5
10	H17	6月	茨木市		無	5	5.5
11	H17	5月	茨木市		無	3	6.0
12	H17	6月	茨木市		５子	4	5.8
13	H17	6月	茨木市		２子	1	5.5

平成１８年度　大阪府アライグマ捕獲個体調査

	捕獲月		市町村	年令	妊娠状態 (目視)	妊娠状態 胎盤痕	体重 (kg)
1	H18	4月	泉佐野市	1	ー	1	6.4
2	H18	5月	茨木市	1	無	1	4.5
3	H18	5月	豊能町	6	ー	2	7.0
4	H18	5月	茨木市	1	無	3	5.0
5	H18	5月	能勢町	1	ー	4	6.5
6	H18	5月	茨木市	1	ー	3	4.5
7	H18	6月	河内長野市	1	ー	4	5.0
8	H18	6月	河内長野市	1	ー	4	5.8
9	H18	6月	茨木市	1	ー	5	8.0
10	H18	6月	富田林市	4	ー	5	6.8
11	H18	6月	泉佐野市	2	ー	3	5.2
12	H18	6月	泉佐野市	7	ー	4	5.2
13	H18	6月	茨木市	2	ー	5	8.0
14	H18	6月	河内長野市	1	ー	4	6.6
15	H18	7月	河内長野市	2	ー	4	5.0
16	H18	7月	富田林市	1	ー	4	6.2
17	H18	7月	泉佐野市	3	無	3	7.4
18	H18	7月	泉佐野市	1	ー	4	5.8
19	H18	8月	河南町	2	ー	5	5.6
20	H18	8月	河南町	5	ー	4	5.4
21	H18	8月	河内長野市	1	ー	3	5.6
22	H18	8月	河内長野市	1	ー	4	6.4
23	H18	8月	河内長野市	1	ー	6	4.8
24	H18	8月	河内長野市	2	ー	1	7.0
25	H18	9月	泉佐野市	3	ー	5	9.8
26	H18	9月	泉佐野市	4	ー	6	5.6

妊娠率

【H17記録で試算】
妊　娠　率　＝妊娠個体数÷調査個体数×１００
　　＝１２÷１３×１００
　　＝９２％
平均産仔数　＝産仔数合計÷妊娠個体数
　　＝４１÷１２
　　＝３．４頭

【H18.4～9記録で試算】
〈１才のみ〉
妊　娠　率　＝妊娠個体数÷調査個体数×１００
　　＝１４÷１４×１００
　　＝１００％
平均産仔数　＝産仔数合計÷妊娠個体数
　　＝５０÷１４
　　＝３．５頭
〈２才以上〉
妊　娠　率　＝妊娠個体数÷調査個体数×１００
　　＝１２÷１２×１００
　　＝１００％
平均産仔数　＝産仔数合計÷妊娠個体数
　　＝４１÷１２
　　＝３．９頭

【合計】
妊　娠　率　＝妊娠個体数÷調査個体数×１００
　　＝３８÷３９×１００
　　＝９７％
平均産仔数　＝産仔数合計÷妊娠個体数
　　＝１３２÷３８
　　＝３．５頭

（６）ＤＮＡ調査結果

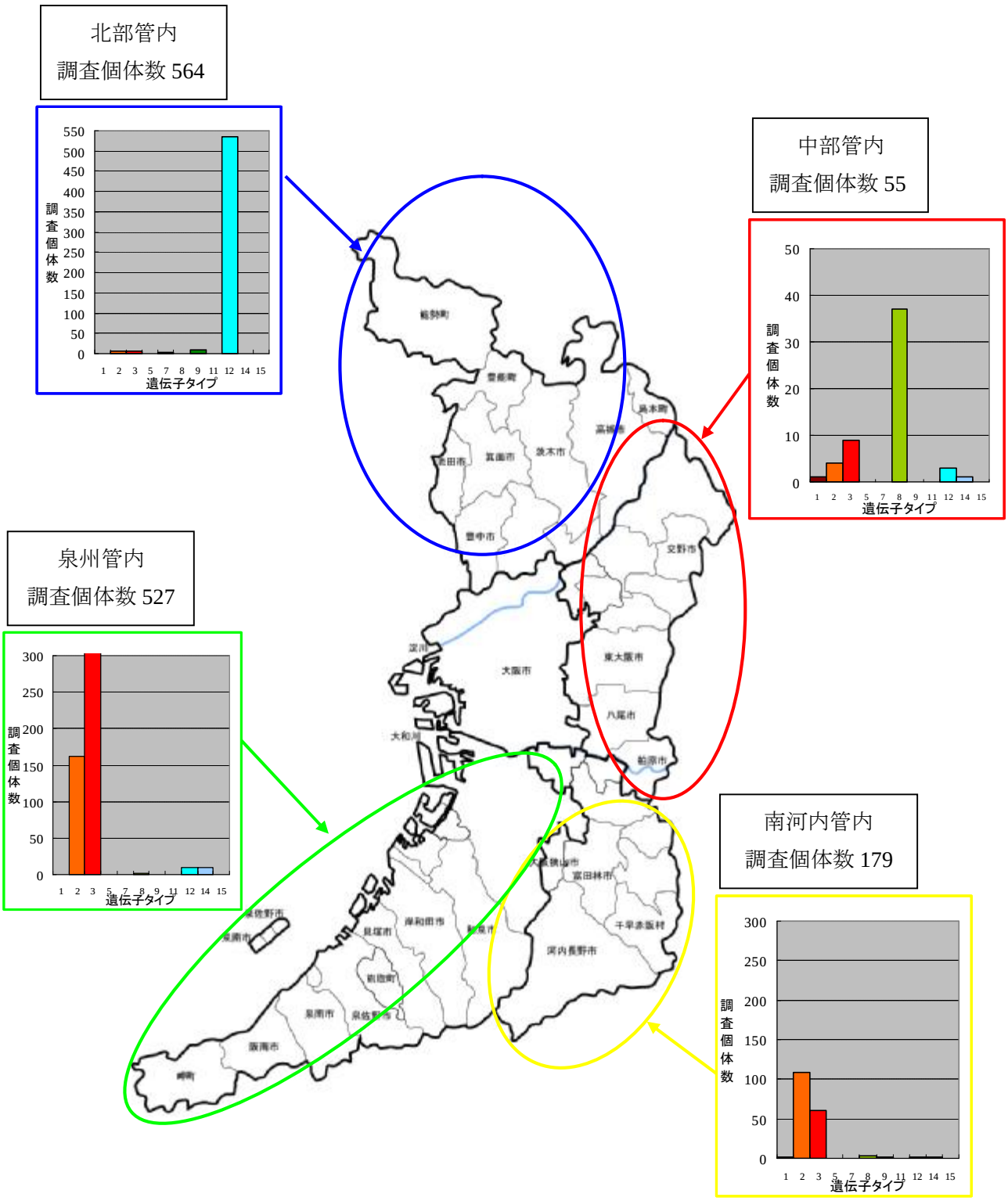
DNA 調査は個体から採取した体毛、筋肉、血痕から抽出したミトコンドリア DNA を分析し、その個体の母系の遺伝子タイプを分類するものである。これにより遺伝子型集団毎の分布状況や繁殖状況が明らかとなり、移入経路を推測したり各集団の分布拡大状況を把握して対策をとることができる。

全国 12 道府県で平成 12 年から平成 21 年度にかけて捕獲されたアライグマから 20 種類の遺伝子タイプが観察され、その分布には地域毎に特徴が見られた（資－表４）。

この内、大阪府においては、平成 17 年 1 月から平成 21 年 7 月までの捕獲個体 1325 頭について調査した結果、11 種類の遺伝子タイプが観察された。府内では「タイプ 12」が 549 頭で最も多く、これは北部管内を中心に大きな遺伝子型集団を形成しており、全国的に見て大阪府に特徴的なタイプである。「タイプ 12」は大阪府に隣接する京都府・兵庫県においても観察されており、北摂地域で分布を広げていると推測される。府内で次に多いのが「タイプ 3」で 422 頭、「タイプ 2」が 281 頭であり、これらは南河内管内及び泉州管内を中心に広く観察されている。「タイプ 2」は兵庫県、奈良県においても観察され、「タイプ 3」は和歌山県、兵庫県、奈良県においても観察されている。

日本各地におけるアライグマの遺伝子タイプの分布（資-表４）

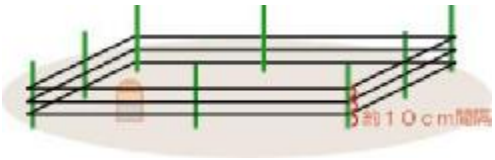
都道府県	DNA型																				合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	16+17	7+18	
北海道	0	225	587	199	253	112	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1381
長野県	0	28	0	0	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
東京都	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
神奈川県	561	14	10	16	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	614
千葉県	3	0	6	0	2	0	0	8	0	80	0	0	0	0	0	126	0	0	10	0	235
群馬県	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
福井県	0	11	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	24
三重県	0	0	0	0	0	0	1	0	22	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	24
大阪府	3	281	422	0	1	0	4	43	9	0	0	549	0	12	1	0	0	0	0	0	1325
京都府	0	0	2	0	0	0	85	1	122	0	0	340	0	0	4	0	0	0	0	0	554
兵庫県	0	37	55	0	0	0	4	0	0	0	0	27	0	0	30	0	0	0	0	0	153
奈良県	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
和歌山県	0	86	305	0	0	0	1381	0	9	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1784
鳥取県	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
佐賀県	0	0	0	0	26	0	0	2	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	40
長崎県	0	5	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	16
合計	568	689	1391	215	302	116	1493	67	167	80	2	918	13	12	35	126	0	0	10	7	6211



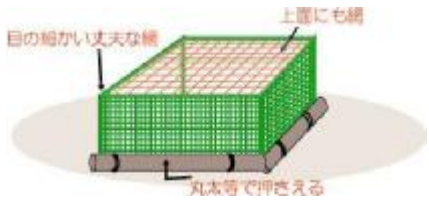
資－図２　大阪府におけるアライグマの遺伝子分布（平成 16 年～平成 21 年 7 月末）

（７）被害防止対策

●農業被害対策

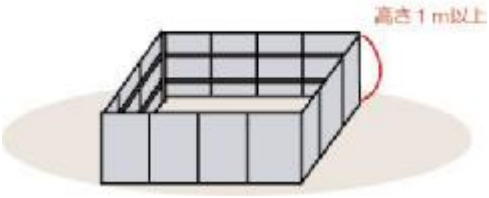
アライグマはトウモロコシやスイカ等甘みのある作物を好み、主にその収穫期に食害します。収穫時期の少し前から収穫が終わるまでの短期間の対策で防ぐことができるのが、アライグマ被害の特徴です。

ａ．電気柵

最も効果的な方法。架線を地面から約１０ｃｍ間隔で３～４本張る。架線が草などに接触していると放電してしまうので、設置前及び設置期間中の草刈りが必要です。



ｂ．網囲い

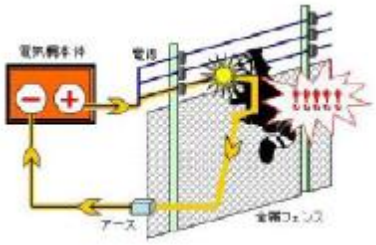
アライグマは網をくぐる、登る、噛み切ることもできる（細い網の場合）ので、目の細かい丈夫な網で周囲および上面を囲い、網のすそは重さのあるものでしっかり押さえます。



ｃ．トタン囲い

トタンを使用する場合は、アライグマが立ち上がっても手が届かないよう、囲いの高さを１m以上にします。市販のトタンは約９０ｃm巾なので、１m以上の長さに切って、横につなぐ等、工夫する必要があります。

また、地面を掘り返しトタンをくぐって侵入するので、３０ｃmほど埋め込むとより効果があります。



ｄ．電気柵+メッシュ柵

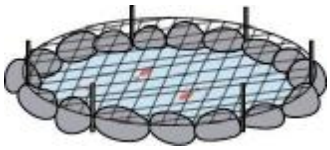
アライグマのよじ登る能力の高さを利用し、あわせて他の野生動物（イノシシなど）の侵入を防ぐため、下部をワイヤーメッシュもしくは金網とし、上部を電気柵とした複合柵も効果があります。

なお、ワイヤーメッシュの格子の大きさは 10ｃm以下の方が良い（イノシシのみの場合は 15ｃm以下）。

●生活環境被害対策

ａ．屋根裏に侵入されたら

アライグマの侵入口を見つけ、アライグマが屋根裏にいる場合は侵入口から遠い屋根裏の一角で害虫防除剤をたいて追い出した後、侵入口をふさぎます（害虫防除剤を使用する際は、商品の取扱説明書に従って安全な使用に努めて下さい）。



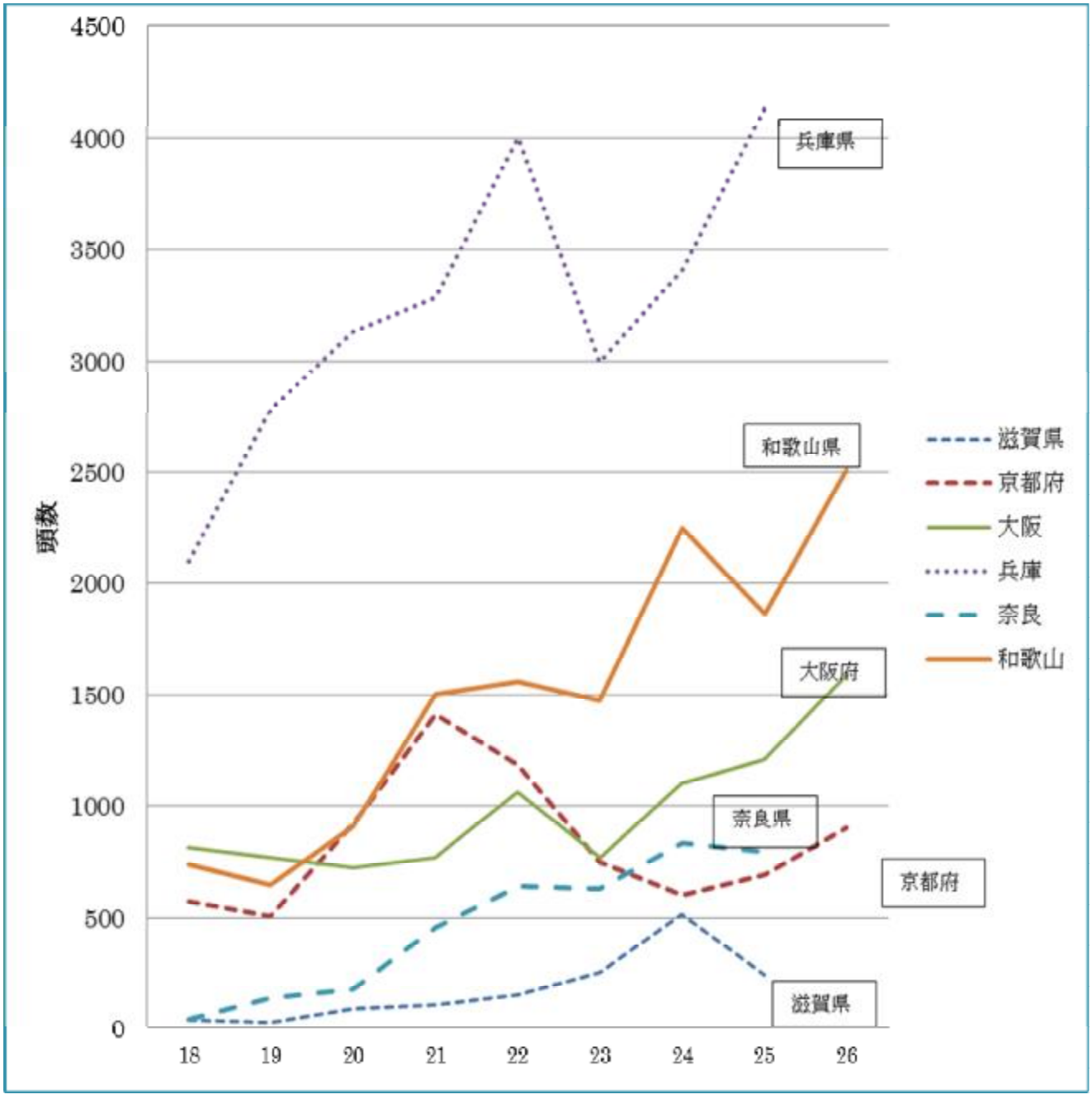
ｂ．池のコイ、金魚等の捕食防止

室内の水そう等に移動させるのが一番安全ですが、無理な場合は目の細かい金網等で池を被います。被いは外されないよう、しっかり固定して下さい。

◎餌付けは絶対にやめましょう

くず野菜や生ゴミ、ペットの餌の食べ残し等を放置することは、餌付けと同じです。
注意してこれらを無くしましょう。

（６）近隣府県の状況


4500
4000
3500
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
頭数
18
19
20
21
22
23
24
25
26
兵庫県
和歌山県
大阪府
奈良県
京都府
滋賀県
滋賀県
京都府
大阪
兵庫
奈良
和歌山